

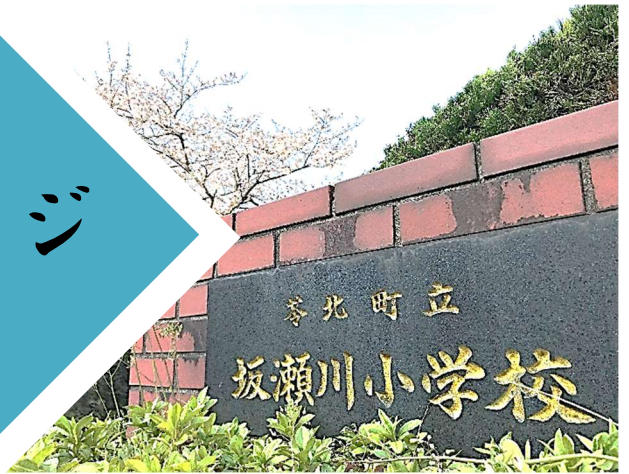


# 夢チャレンジ

校訓

かしこく たくましく うつくしく

令和3年2月8日 第13号 文責 梶原 圭一



## 複式学級設置に伴う保護者説明会

1月21日(木)に、1~3年生の保護者の方々に向けて複式学級設置に伴う保護者説明会を行いました。

10年ほど前は100人近くの児童が通っていた本校も、近年児童数の減少に伴い、令和3年度から複式学級を設置することとなります。複式学級とは、二つ以上の学年を一つにした学級のことで、一人の担任が複数の学年を指導することになります。現在、天草管内では4つの小学校で複式学級が設置されていて、苓北町内では、都呂々小学校に2つの複式学級が設置されています。



二つ以上の学年の児童の合計が17人よりも少ない場合は複式学級を設置することが、「公立義務教育諸学校の学校編制及び教職員定数の標準に関する法律」の中に定められています。12月に保護者の皆様あてに、4月からの在籍に関するアンケートを実施させていただきました。その結果から、現在の1年生から3年生が複式学級の対象となりましたので、少しでも早く次年度の学級編制についてお知らせし、ご理解並びにご協力いただきたく、本説明会を計画しました。

説明会を行うに当たっては、大変御多用な中、苓北町教育長様にご臨席いただくとともに、ご挨拶をいただきました。私からは、次年度の学級編制や各学年の学習する教科や時間の違い、新3・4年生(現2・3年生)を複式学級とすることなどについて説明しました。また、町から支援員の方を配置していただく予定であることや、複式学級となることで生まれるメリットについても話をさせていただきました。

保護者の方々からは、「どのような方が支援員となられるか。」「メリットだけでなく、デメリットについても教えてほしい。」といったご意見をいただきました。いただいた意見を大切にしながら、4月からの設置に向けて準備を進めていきたいと思っております。また、町内の都呂々小を始め、すでに複式学級を設置されている学校の取組に学びながら、子供たちが安心して学校生活を送れるよう、職員一丸となって準備してまいります。

## 「坂瀬川サミット」を行います

本校では、1・2年生の生活科や3年生以上の総合的な学習の時間を使い、「ふるさとに学ぶ」学習を進めています。自分たちで地域に出かけて調べ作業をしたり、地域の方から話をさせていただいたりして、坂瀬川や苓北町を様々な視点から見つめ直し、ふるさとを愛する心を育ててきました。

今年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、例年実施していた「あいあいフェスティバル」をはじめ、子供たちが学習の成果を多くの方々に発表する場を設けることができませんでした。しかし、学んだことや感じたことを自分たちの言葉で表現する力を高めていきたいと考え、各学年の発表を動画で視聴し、感想や意見を交流する機会を設定しました。保護者の方々には、子供たちの発表を実際に見ていただきたいところではありますが、今回は動画という形で視聴していただけるよう準備しました。ご理解の程、お願いいたします。ふるさとから学んだことをもとに、子供たちが伝えるメッセージを受け取っていただければ幸いです。

# 熊本県学力・学習状況調査

昨年の12月2～3日に、熊本県学力・学習状況調査を行いました。先日その結果が届きました。3年生は、初めて本調査に挑戦しましたので、前年度との比較はできないのですし、個人差もありますが、全体的に全国平均及び県平均を上回る結果を残すことができました。4年生以上は、国語も算数も前年度の成績を上回り、県平均と同等か上回る結果となりました。

本年度の県学力・学習状況調査の中で、昨年度から成長が見られたことは、難しい問題や分からない問題に出会ったときに、何も書かずに終わらせるのではなく、あきらめずに正解を求めて書き込みをしている子供たちが増えたことです。

また、本校で取り組んでいる「自計学」で、1ページのノートが無駄にせず、しっかり書き込む取組を続けてきたことも成果として表れています。質問紙による調査「i-Check」でも、学習習慣に関する質問項目で、昨年度に比べ大きな伸びが見られました。ご家庭の協力の下、日常的に粘り強く学習に向き合ってきたことが、少しずつ子供たちの力となってきていることを確信しました。

しかしながら、全体的な学力の向上は見られましたが、学校総体として取り組まなければならない内容も多く見つかりました。まずは、「読む力」をより高めていくことが必要です。今回の学力調査では、すべての学年で物語や説明文を読み、その内容に沿って解答する問題が出されています。一人一人の解答状況を見ていくと、十分内容を理解しないまま答えている子供たちが多いことが分かります。例えば、説明文を読んだ後の1問目で、「上の文章の内容に合うものを、次から一つ選んで、その番号を書きましょう」という問題が出される場合がありますが、そこで間違ってしまうということは、読んだ文章の大体を捉え切れていないということになります。今回の国語のテストでは、これと同様の誤答も見られました。日頃から教科書に出てくる物語や説明文の音読には取り組んできましたが、今後は、初めて読む文章についても、書かれていた事柄や感想をまとめるという取組を考え、積極的に取り入れていきたいと思えます。

「読む力」は、算数でも必要になってきます。今回の学力調査により、子供たちの計算力はずいぶん向上してきたことが分かりました。定期的に行ってきた計算大会や、朝自習のチャレンジタイムの成果が表れてきています。テストの中では、計算のみの問題も出されていますが、ほとんどの問題が文章で問われています。「読む力」を高め、生活に生きる算数の力となるよう、さらに授業を工夫していきたいと思えます。

本年度も2ヶ月ほどとなりましたが、子供たち一人一人の「読む力」に着目した取組を検討し、しっかりと身に付けさせていきたいと思えます。また、前回の学校だよりでも書かせていただきましたが、読書活動の推進に対して、ご理解並びにご協力をお願いいたします。

なお、今回の学力・学習状況調査の一人一人の結果につきましては、保護者の方々に直接お渡しします。今回の質問紙による調査から、子供たちの学習習慣が定着してきているという結果も出ています。子供たちの日頃の頑張りをほめていただくとともに、これからどんな勉強の仕方をすればよいかご家庭でも話題にしてください、学校とご家庭で手を携えながら、子供たちの「学びに向かう力」を高めていければと思います。

## <今後の主な予定>

3月 4日(木) 地区児童会	3月23日(火) 終了式
3月 5日(金) お別れ遠足	3月24日(水) 卒業証書授与式
3月16日(火) PTA新旧合同委員会(予定)	3月29日(月) 退任式(予定)

※新型コロナウイルスの感染状況により、予定を変更する場合があります。ご理解ください。